

HODAKAのシステム制震検討

邸 名 穂高 太郎

様邸

建 築 地 宇治市広野町〇〇〇

築 年		2000年以降				地盤状況		普通									
階 高		1階		2.85		m		2階		2.8		m					
補 強 前																	
屋根仕様		瓦															
1 階床面積㎡						2 階床面積㎡											
45.77						22.68											
壁の耐力(kN)						層間変形角											
1 階			2階			損傷限界				安全限界							
X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向			
12.13		22.68		10.22		10.22		1/100		1/131		—		1/29			
判定⇒						NG		OK		NG		NG					
補 強 後																	
屋根仕様		瓦															
床面積㎡						床面積㎡											
45.77						22.68											
壁の耐力(kN)						Hiダイナミックダンパー設置個数											
1 階			2階			1 階				2階							
X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向			
12.13		22.68		10.22		10.22		3		2				1			
※耐震診断を行った数値から「Hiダイナミック制震工法 耐震改修 効果判定書」を行った場合とダンパー設置個数で若干差異が出る場合があります。						層間変形角											
						損傷限界				安全限界							
						X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向	
						1/456		1/281		1/35		1/36					
判定⇒						OK		OK		OK		OK					

※「損傷限界」とは、中規模地震(震度5弱～5強程度)が発生した場合でも、建物の主要構造材に損傷が起きない限界のことです。

※「安全限界」とは、大地震(震度6強～7程度)が発生した場合でも、建物が崩壊せず、人命などの安全が確保できる限界のことです。